

# 17型アタッチメントタッチパネル 取扱説明書

## 箱の中身の確認

■はじめに箱の中に以下の物が入っていることをご確認ください。



※MS(R)、Windows(R)は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

## VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

## 取扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

**警告** ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または重症を負う危険性がある項目です。

●本製品はガラス製品です。万一割れた場合は直ちに使用を中止してください。また、破片などで手を切らないよう十分にご注意ください。

●分解/改造しないでください。故障、火災、感電の原因となります。分解/改造を行った場合、弊社では一切のサポートをお引き受けいたしかねます。

●濡れた手や先の固い物での操作は行わないでください。

**注意**：その他こんなことにも注意してください。

○本取扱説明書で指定する以外の方法で使用しないでください。

○本製品を落下させる、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。

○次のような場所での保管、使用はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・温度差の激しい場所（結露する場所）
- ・高温になる場所（暖房機器の近くなど）
- ・衝撃や振動の加わる場所
- ・ホコリの多い場所
- ・湿気が多い場所、水などの液体がかかる場所

## ハードウェア仕様

機種名	・	・	：LTP-17U / LTP-17UBK	
対応ディスプレイ	・	・	：液晶17型	
対応解像度	・	・	：XGA、VGA、SVGA、SXGA	
インターフェース	・	・	：USB 1.1	
コネクタ形状	・	・	：USBシリーズA	
環境条件：動作時	温度	・	：10℃から35℃	
	相対湿度	・	：20%から80%（※1）	
	保管時	温度	・	：-10℃から40℃
		湿度	・	：20%から80%（※1）
入力電圧	・	・	：DC 5V ±10%（※2）	
消費電力(定格)	・	・	：0.15W	
外形寸法（※3）	・	・	：372X312X5.2（mm）	
質量	・	・	：770g(本体のみ)	

- ※1 ただし結露なきこと
- ※2 USBバスパワー
- ※3 幅 × 高さ × 奥行き 突起部は除く

## 製品のご紹介

### ■製品の特徴

- 本製品は17型液晶ディスプレイに取り付け、液晶ディスプレイをタッチパネル型モニターとして使用するためのアタッチメントタッチパネルです。
- 本パネルを17型液晶ディスプレイに取り付け、パソコンのUSBポートに接続すると、パネルを直接タッチペンや指でタッチするだけで、マウスと同様に画面上的操作が行えるようになります。

### ご注意

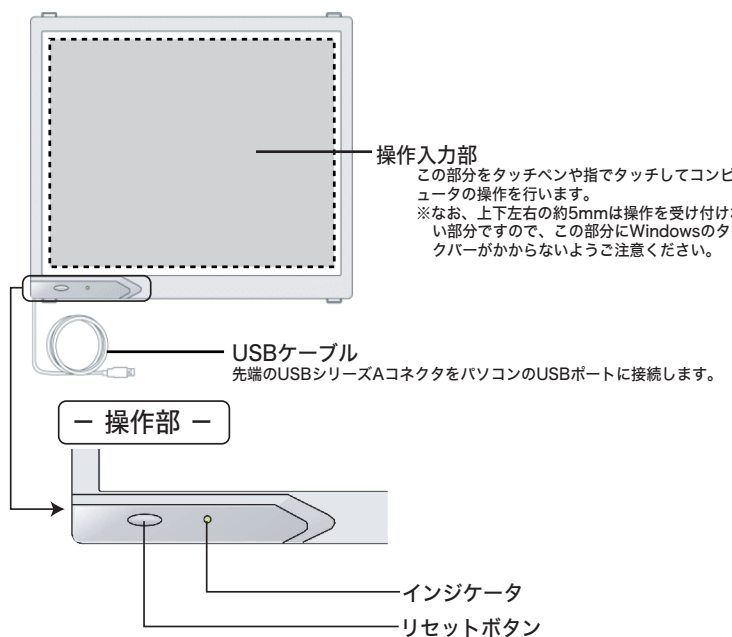
- ※17型以外の液晶ディスプレイには対応しておりません。また、17型であっても、一部特殊な形状のディスプレイには取り付けられない場合があります。
- ※本製品はマルチディスプレイ/デュアルディスプレイには対応しておりません。
- ※指やタッチペンによる操作では、マウスの右クリックに該当する操作は行えません。

## ■対応OS

本製品は以下のOS環境にて使用が可能です。

- Windows XP HomeEdition / Professional
- Windows Me、Windows 98 (Second Edition 含む)
- Windows 2000

## 各部の名称と機能



### インジケータ

- 点灯・点滅・消灯状態により、現在のモードを示します。
- 点灯： 通常動作モード  
PC電源投入直後、タッチ入力中、タッチ入力後、それぞれ約3秒間点灯します。
- 消灯： 待ち受けモード  
約3秒以上、入力がない状態が続くと待ち受けモードへ移行します。このモードでは消費電力を抑え、タッチ入力を待ちます。タッチ入力を感知すると、いったんマウスカーソルが原点（画面右隅）移動し、通常動作モードへ移行します。
- 点滅： 設定モード  
カーソルの位置合わせ中。設定が終わると通常動作モードへ移行します。

### リセットボタン

リセットボタンを押すと、マウスカーソルは画面右隅（座標原点）へ移動します。

## 設定手順

設定は、ここでご説明する手順通りに行ってください。順序が異なると正しく設定できない場合があります。

## 1. マウスのプロパティ設定

### ご注意！

本アタッチメントパネルは、Windows標準マウスドライバにより動作します。

アタッチメントパネル本体をパソコンへ接続する前に、必ず以下の手順で「マウス」のプロパティを設定してください。

※設定が異なっていると正しく動作しません。

### マウスのプロパティの起動方法

- Windows XPの場合  
「スタート」－「コントロールパネル」（クラシック表示に切り替える）－「マウス」
- Windows Me、98、2000の場合  
「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」－「マウス」

※説明に使用する画面は、ご使用の機種により若干異なる場合があります。

**Windows XPの場合**

- ①ポインタオプション タブをクリックしてください。
- ②速度を中央にあわせませす。  
※中央位置に設定できない場合は、中央から見て、やや「遅く」の側にくるように設定してください。
- ③「ポインタの精度を高める」「動作」「表示」の全てのチェックが外されている（チェックされていない）状態であることを確認。  
※チェックされている場合はチェックを外してください。

**Windows 2000の場合**

- ①動作 タブをクリックしてください。
- ②速度を中央にあわせませす。  
※中央位置に設定できない場合は、中央から見て、やや「遅く」の側にくるように設定してください。
- ③加速を「なし」に設定
- ④このチェックが外されていることを確認。  
※チェックされている場合は、チェックを外してください。

**Windows Meの場合**

- ①ポインタオプション タブをクリックしてください。
- ②ポインタの速度を中央にあわせませす。  
※中央位置に設定できない場合は、中央から見て、やや「遅く」の側にくるように設定してください。
- ③「動作」「表示」の全てのチェックが外されている状態であることを確認。  
※チェックされている場合はチェックを外してください。
- ④詳細設定ボタンをクリックすると左のダイアログボックスが表示されるので、「ポインタの加速度」のチェックが外されている状態であることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。  
※チェックされている場合はチェックを外してください。

**Windows 98/98SEの場合**

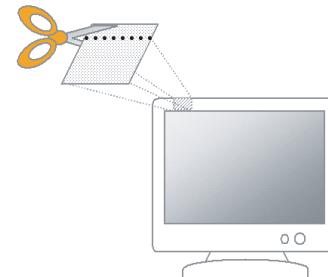
- ①動作 タブをクリックしてください。
- ②ポインタの速度を最も左側（「遅く」側）にあわせませす。
- ③「ポインタの軌跡」のチェックが外されている状態であることを確認。  
※チェックされている場合はチェックを外してください。

設定の確認が終わったら、「OK」または「適用」ボタンをクリックしてマウスのプロパティウィンドウを閉じておきます。

## 2. 液晶ディスプレイへの取り付け

### 2-1 面ファスナーのカット

付属の面ファスナーをお使いのディスプレイの額縁幅に合わせてカットしてください。  
※額縁幅が25mm以上の場合は面ファスナーをカットする必要はありません。



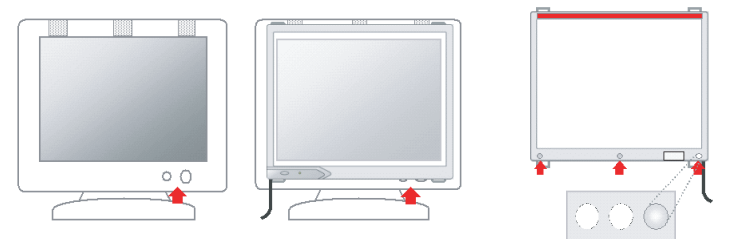
### 2-2 面ファスナーの貼り付け

面ファスナーの裏面の紙をはがし液晶ディスプレイ上部の額縁3箇所貼り付けます。表示画面の端から約2センチほど離して左右に2箇所貼り付け、その中間の位置に残りの1枚を貼り付けます。

※貼り付け面は、あらかじめ乾いた布で乾拭きし、ごみなどが付着していないようにしてください。  
※面ファスナーの表面は指の腹で押さえるように貼り付けてください。  
※面ファスナー表面は爪などでこすると、表面の突起がぶれてしまい、本体が取り付けられなくなる恐れがあります。

### 2-3 スペーサーの貼り付け

アタッチメントパネルを取り付ける部分に液晶ディスプレイの操作ボタンがある場合は、付属のスペーサーをアタッチメントパネル裏面に3箇所あらかじめ貼り付けておき、操作ボタンとパネルが当たらないようにしておいてください。  
※貼り付け位置はアタッチメントパネル本体やスペーサーが液晶ディスプレイの操作ボタンを押してしまわない位置へ、スペーサー同士の間隔を離して貼り付けてください。



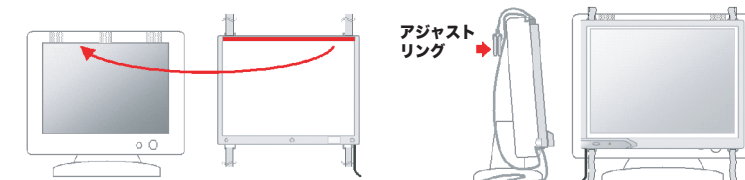
### 2-4 ストラップベルトの取り付け

付属のストラップベルトをアタッチメントパネルの金具に正面から通します。金具は上下左右に4箇所ありますが、ストラップベルトは右側上下/左側上下の組み合わせでねじれないように注意して通してください。また、この時点ではストラップベルトを通すだけで、アジャストリングには通さないでください。



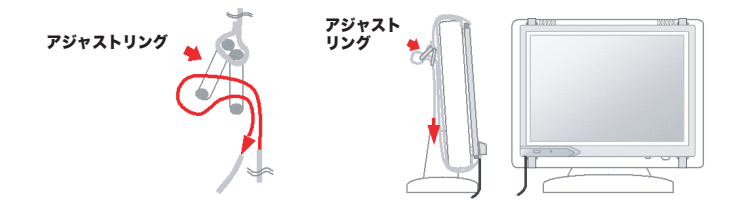
### 2-5 本体取り付け

アタッチメントパネル本体の操作入力部と液晶ディスプレイの表示面が合うように、液晶ディスプレイの額縁に貼り付けた面ファスナーにアタッチメントパネル本体裏側の面ファスナーをあわせて仮止めします。ストラップベルトはアタッチメントパネルと液晶ディスプレイの間にはさまれないよう背面に回し、アジャストリングが、液晶ディスプレイの背面上部にくるように調節します。



### 2-6 ストラップベルト調整

アタッチメントパネルと液晶ディスプレイの表示面がずれていないことを確認し、ストラップベルトをアジャストリングに通し、ストラップベルトの端を下へ引っ張りベルトを締め付けます。  
※あまり力を入れすぎるとロックが外れますので、適度な力で締め付けてください。



### 2-7 完了

アタッチメントパネルに傾きがないこと、ベルトに緩みがないことを確認したら、アタッチメントパネルの取り付けは完了です。次にパソコンと接続し、操作入力部の調整を行います。裏面へお進みください。

